

魚類防疫対策事業

杉山昭博

目的

魚病の発生及び蔓延を防止し、魚病被害を軽減させるとともに、食品として安全な養殖魚生産を図り、もって水産増養殖の健全な発展及び養殖漁家経営の安定に資する。

方法等

1. 医薬品残留検査

対象医薬品：オキシリン酸、オキシテトラサイクリン

検体：クルマエビ

分析機関：財団法人日本冷凍食品検査協会

2. 平成5年度魚病発生状況

結果

1. 医薬品残留検査

対象地域	対象医薬品	検査期間	検体数	結果
久米島	オキシリン酸 塩酸OTC	6年1月～2月	10	—
		6年1月～2月	4	—
沖縄本島	オキシリン酸 塩酸OTC	6年1月～2月	30	—
		6年1月～2月	16	—
			計 60	

—：検出なし

2. 平成5年度魚病発生状況

表1 平成5年度魚病発生状況

月 日	魚 種	平均魚体重 (g)	平均尾叉長 (cm)	症 状	細菌検査	結 果
4/15	ハマフエフキ	600	30	腹腔内壁、体表出血	+	未同定
4/15	クルマエビ	11		鰓黒、尾脚欠損	-	不明
4/16	クルマエビ	23			+	ビブリオ病
4/20	クルマエビ	2~18		体色ピンク、褪色	-	RV-PJ
4/23	クルマエビ	10~13			-	不明
5/3	シマアジ	1.4~4.4	4.6~6.7	腎臓に白色結節	+	類結節症
5/7	チャイロマルハタ	11~24	10.0~12.4	体表に白点	-	白点病
5/9	カンパチ	444~598	31~34	体表に点状出血	-	白点病
5/10	マダイ	0.9~1.2	3.5~43.0	センターから輸送直後に大量斃死	+	ビブリオ病
5/13	マダイ	0		同上	+	ビブリオ病
5/20	チャイロマルハタ	15~34	107~143	眼球白濁	+	白点病
5/26	マダイ	3.6~1090	5.5~39	前頭部潰瘍、体表剥離	+	エドワジエラ症
5/27	マダイ	2.7~4.8	5~6	体表表皮白化	+	未同定
5/30	スジアラ	22~38	13~16	体表白化	+	白点病
6/1	シマアジ	2.9~4.6	62~85	体表剥離、尾鰭欠損	+	滑走細菌症
6/2	クルマエビ	0.02				RV-PJ
6/5	チャイロマルハタ	23~108	12~18	眼球白濁、体表剥離	+	白点病
6/10	ヒラメ	53~77	17~19	腹水充満	-	白点病
6/11	マダイ	3.6~6.1	5.6~6.8	腎臓に白色結節、肥大	+	不確定
6/25	マダイ	4~9.4	5.7~7.6	腎臓腫大	-	同上
7/16	マダイ	0.8~5.2	4.2~7.3	同上	-	同上
7/20	マダイ	4.3~10.3	6.2~8.2	同上、体表剥離	-	同上
7/20	シマアジ	20.8~40	10.2~12.3	同上	-	同上
7/26	シマアジ	675~723	34~34.5	脳内出血	±	不明
7/27	マダイ	23~40	9.8~11.7	脳内出血	±	不明
7/28	マダイ	141~186	20~21.2	体表剥離	+	不明
8/6	クルマエビ		0.9	斃死	+	ビブリオ病
8/11	スジアラ		3.4~3.8	体表表皮白化	+	滑走細菌症
8/17	スジアラ	0.7~1.03	34.1~40.5	体表表皮剥離、眼球白濁	+	滑走細菌症
8/22	シマアジ	182~340	23~27	体表表皮剥離	-	不明
8/24	マダイ	3.5~10.9	61~79	体色黒化	+	未同定
9/10	シマアジ	12.3~30.1	9.6~12	腎臓肥大、腹腔内壁出血	+	不確定
10/8	チンシラー	130~262	19.3~24.3	体表表皮剥離	-	不明
10/13	クルマエビ	10.6~14.8			+	ビブリオ病
10/18	チャイロマルハタ	0.58~1.14	3.8~4.2	体表表皮剥離	-	白点病
11/26	ハマフエフキ	19.3~31.1	10.5~12.5	眼球白濁、尾鰭欠損	-	白点病
12/9	テラピア	16.9~53.1	8.1~13.5	表皮剥離、脳内出血、腎臓・心臓に結節	-	不明
1/11	チャイロマルハタ	0.76~1.95	3.7~4.8		+	不明
1/21	ツチホゼリ	2747	52	尾鰭出血	+	滑走細菌症
2/10	マダラハタ	2419	50	体表出血、鰓に白点虫	-	白点病
2/21	クルマエビ	16.9~42.5		褪色、ピンク化、縞模様不明瞭	-	不明
3/28	チンシラー	249~366	23.6~27.6	眼球白濁	-	白点病
3/31	チャイロマルハタ	8.3~9.54	7.5~8.0	体表剥離、尾鰭欠損	+	滑走細菌症